

2023年2月10日 第446号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

大軍拡・大增税NO! 敵基地攻撃能力の保有を許さない!

税金は軍事費でなく、くらし・社会保障・教育に

憲法共同センターは2月9日昼に新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、8団体 31 人が参加しました。岸田首相が強引にすすめる大軍拡・大增税に反対する声をあげようと訴えました。新しく始まった「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大增税に反対する請願署名」は16人、「憲法改悪を許さない全国署名」は9人の方からご協力いただきました。



日本共産党の志位和夫衆議院議員は、敵基地攻撃能力の保有について、パネルを使って詳細に説明。岸田首相は専守防衛を投げ捨て、軍事費を5年で43兆円にまでしようとしている。他国に脅威となる兵器を持ちながら軍事大国ではないと言っている。政府は9条を生かした平和外交で東アジアの平和のために力を尽くすべき」と強調しました。

自由法曹団事務局次長の永田亮弁護士は、「敵基地攻撃能力の保有、軍事費の拡大は憲法の理念に照らして許されない」と指摘。物価高や教員の長時間労働、LGBTQの問題などについて話し、「個人を犠牲にする、無視する岸田政権。国の暴挙を是正させるため声あげていこう」と呼びかけました。

新婦人の牧祐子中央常任委員は、「岸田首相は異次元の少子化対策と言うが、具体的な中身がなく、消費税を財源にするなど国民負担が狙われている。物価が高騰しているなか、税金は大軍拡ではなく、私たちのくらしや教育に使うべき」と訴えました。

全日本民医連の木下興事務局次長は、「防衛力整備計画には、有事の際、最前線で負傷を負った自衛隊員に対し、最前線で緊急手術を行えるようにすること、そのための外科医を養成することが盛り込まれている。実際に自衛官が前線で負傷すること、しかもかなりの人数になることを想定して作成されたものだ」と指摘し、「私たち医療者は戦争に加担しない。それが私たち医療者の誓い」と強調しました。



農民連の町田常高さんは、「餌代や資材の高騰で酪農が危機に陥っているが、政府による有効な手立てが打たれていない。バターなどが足りないと大規模化をすすめさせ、牛乳が余っているからと牛を減らせという。簡単に増やしたり、減らしたりできるものではない。国の責任で牛乳を買い上げて生活困窮者に支援するなどで活用すべだ」と批判しました。

夕方にも「9の日」宣伝@御茶ノ水

2月9日夕、御茶ノ水駅御茶ノ水橋口前で、憲法共同センターが全労連会館内の団体に呼び掛け、「9の日」宣伝を行いました。全日本民医連の加藤久美事務局次長、浦田修さん、楠木優さん、飯尾智憲さんが医療者の立場から、「税金は軍拡ではなく、暮らし・医療・福祉に使ってほしい」と訴えました。

全労連からは小畑雅子議長、前田博史副議長、衛藤浩司常任幹事が訴えました。小畑議長は、「岸田首相は、大軍拡予算だけでなく戦争する国に変え、国家総動員体制をつくろうとしている。例えば、民間の空港や港湾が軍事利用されようとしており、そうなるそこで働く人たちが軍事体制に組み込まれることになる。医療や公共サービスもそうだ。軍事費のために必要な予算を削り、増税することは許されない。いのち・暮らしのために税金を使うよう声をあげていこう」と訴えました。



オール大塚宣伝 10 団体 20 人が参加

2月9日昼に大塚駅南口でオール大塚宣伝を実施し、10団体20人が参加しました。

署名24筆（憲法署名10筆、大軍拡・大増税反対署名14筆）を集め、ティッシュ200枚を配布しました。

当面の行動

- 2月13日(月) 総がかり行動 署名宣伝 18時～ 新宿駅東南口
- 2月15日(水) 国民大運動等定例国会行動 12時～ 国会議員会館前
- 2月15日(水) 大軍拡・大増税NO!連絡会 国会議員要請
定例国会行動終了後、その場で意思統一し議員要請
- 2月19日(日) 総がかり行動 19日行動 18時30分～ 国会議員会館前
- 2月21日(火) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前
- 2月24日(金) 総がかり行動 ロシアのウクライナ侵攻から1年。ウクライナに平和を！2・24
日比谷野音集会&デモ 18時30分～ 日比谷野音